

資料 1

施設概要

【船橋市アンデルセン公園】

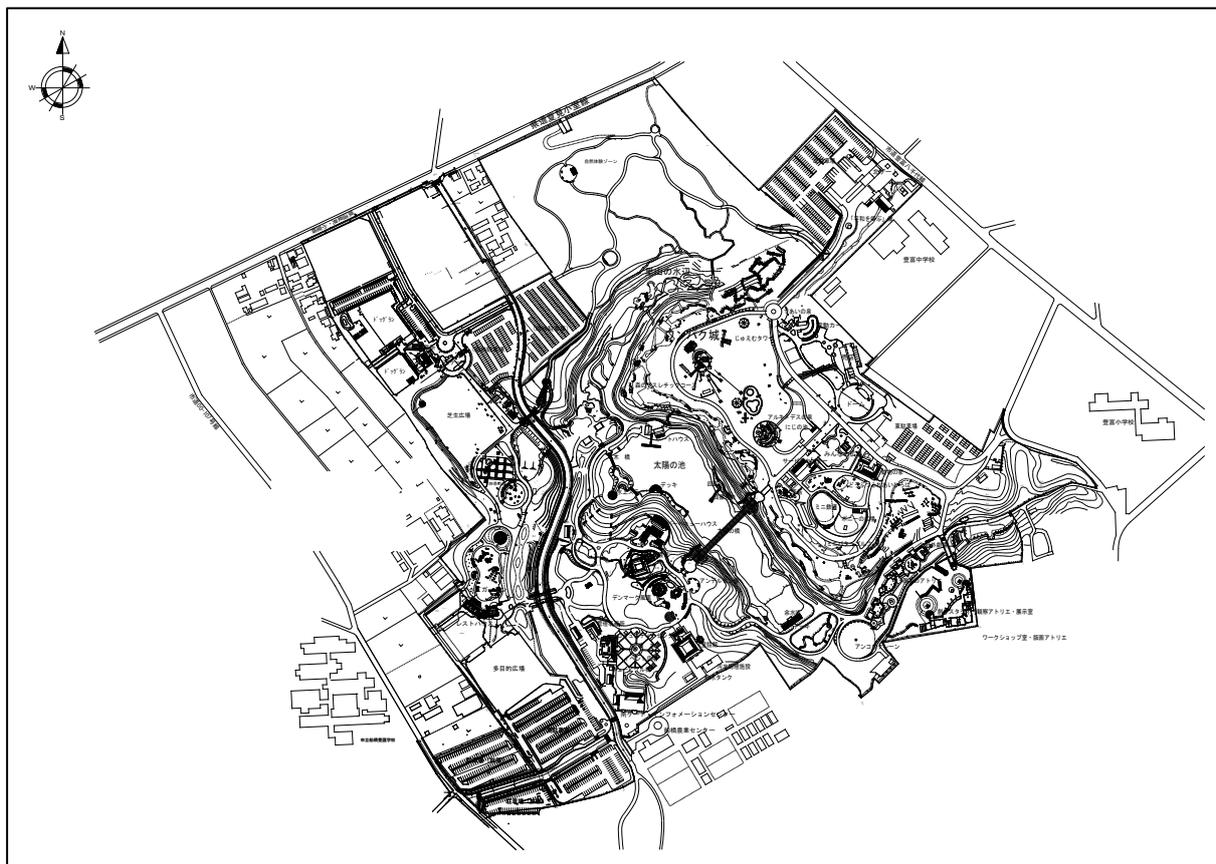
【施設概要】

名 称	船橋市アンデルセン公園
開 設	平成8年10月
所 在 地	船橋市金堀町525番ほか
アクセス	「船橋駅北口」から京成バス千葉ウエスト、アンデルセン公園行きバスで40分(アンデルセン公園下車徒歩1分)ほか
敷地面積	39.3 ha
	ゾーン内訳
	・ワンパク王国ゾーン : 約11.5 ha
	・メルヘンの丘ゾーン : 約7.6 ha
	・子ども美術館ゾーン : 約2.6 ha
	・自然体験ゾーン : 約8.0 ha
	・花の城ゾーン : 約7.5 ha
	・地域交流ゾーン : 約2.1 ha

保有施設

ゾーン名	施設名
ワンパク王国ゾーン	「平和を呼ぶ」像、森のアスレチック、じゅえむタワー、ワンパク城、大すべり台、にじの池、アルキメデスの泉、ポニーの広場、どうぶつふれあい広場、ワンパクボール島、イベントドーム、レストハウス(フードショップ)、ミニパターゴルフ広場、ミニ鉄道広場、変形自転車のりば
メルヘンの丘ゾーン	イベント広場(噴水含む)、ピクニック広場、せせらぎ、風車、農家、アンデルセン像、レストハウス(バーベキューハウス)、太陽の橋、太陽の池、ボートハウス、童話館、コミュニティーセンター(展示室・売店等)
子ども美術館ゾーン	a. パフォーマンスゾーン 地中館、アンデルセンスタジオ、図書・資料室、ワークショップ室、版画アトリエ、展示室 b. クラフトゾーン 食のアトリエ、染織のアトリエ、陶芸のアトリエ、木のアトリエ c. 屋外施設 野外劇場、大地の広場
自然体験ゾーン	里山の水辺(棚田)、里山の樹林(散策路)、連絡橋
花の城ゾーン	キッズガーデン(とかげネット、花の城レストハウス(授乳室・休憩所)) 四季の庭(ガゼボ)、カフェレストラン、連絡橋
地域交流ゾーン	ドッグラン
駐車場	北駐車場(356台)、東駐車場(200台)、南駐車場(818台)、西駐車場(729台)

【案内図】



【開園時間】

(1) 午前9時30分から午後4時00分まで

※必要があるときは、市長の承認を得て開園時間を臨時に変更することができます。

【休園日】

(1) 月曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

(3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

※必要があるときは、市長の承認を得て開園日を臨時に変更することができます。

【施設の詳細】

1) ワンパク王国ゾーン

①「平和を呼ぶ」像



市の平和都市宣言記念像として、昭和63年10月建立。
岡本太郎制作 高さ13m。

②森のアスレチック



ファミリー、冒険、力だめしの森及びダイナミックの4つの
フィールドアスレチックコース。約100ポイント。

③じゅえむタワー



民話の主人公のしりもち姿をイメージした複合遊具。

④ワンパク城



ローラースライダー、ロープスライダーを併設した高さ約1
3mのタワー。

⑤にじの池



晴れた日には見事な虹が広がる池。

⑥アルキメデスの泉



てこ式揚水ポンプ、足掛け水車等を配した水学習施設。

⑦ポニーの広場、どうぶつふれあい広場



約50mの引き馬コースと動物と子ども達のふれあい広場。

⑧イベントドーム



雨天でもイベントを行うことができる直径約40mの円形ドーム。

ステージ（間口15m、奥行6m）、控え室3部屋。

⑨ミニ鉄道広場



1周116mのミニSL。

⑩ワンパクボール島



大小様々のカラフルなボールをネットで覆った大型ボールネット遊具。

2) メルヘンの丘ゾーン

①イベント広場



デンマークから輸入した舗石で敷き詰めた約2,800㎡の広場で、デンマーク・オーデンセ市の街並みを再現。

中央にはアンデルセン童話の代表作である「みにくいアヒルの子」が白鳥になって飛び立つ姿をイメージした高さ4.2mの噴水。周囲にはガス灯を配置。

②コミュニティーセンター (RC・S造3階建、建築面積約450㎡)



デンマーク・オーデンセ市のフュン野外博物館の管理棟をイメージ。

1階は会議室、展示室及び売店等。2階は公園管理事務室。

③ピクニック広場

広さ約6,000㎡の芝生広場、自由な遊びや食事等ができる広場。

④せせらぎ

太陽の池の循環水及び井戸水を利用した延長約158mのせせらぎ。

⑤風車 (RC 4階建、建築面積約147㎡)



デンマーク・オーデンセ市のフュン野外博物館に現存する1800年代に建設された風車を手本とし、デンマークの風車職人との共同施工にて建設。メルヘンの丘のシンボルマーク。

キャップの先までの高さは16.45mで、羽の直径は22.6m、デンマークとの気象条件の違いにより、風とモーターの両方で回転。

1階はデンマーク風車に関するパネル展示、更にデンマーク職人製作の本風車の断面模型を展示。

⑥農家 (木造・平屋、建築面積約200㎡)



デンマーク・オーデンセ市のフュン野外博物館に現存する1800年代の農家をデンマーク職人の手により再現。

屋根は葦葺きで、デンマークの農家の生活風景を見ることが可能。

⑦アンデルセン像



デンマーク・オーデンセ市のアンデルセン公園内にある、H. C. アンデルセンの立像を複製。台座を含めた高さは4.95mで、像だけでは2.81mの高さ。

デンマーク国内外を通じて初めての複製。

⑧レストハウス（レストラン・メルヘン）（木造・平屋、建築面積約248㎡）



軽飲食の機能を持たせたデンマーク風の建物、野外テラスで池を見ながら食事が可能。

⑨太陽の橋



ワンパク王国とメルヘンの丘を結ぶ橋で、水面からの高さは約13m。アンデルセン童話にちなんだデザインプレートがはめ込まれた高欄。

- ・下部工 橋脚：固定
脚台：鉄筋コンクリート逆T式
基礎：場所打ち杭（φ1,000）
- ・上部工 構造：鋼アーチ橋
橋格：歩道橋（緊急車両10t対応）
橋長：84.0m
支間長：54.0m
幅員：6.0m（有効5.0m）
床版：鋼床版+木床版
舗装：木製舗装（イペ）
高欄：鍛造高欄

⑩太陽の池



太陽の池は約1.6haあり、うち半分はボート池、残り半分はヨシ・ガマ等を入れビオトープ空間。

流域約62haの雨水調整池としても機能。

⑪ボートハウス（木造・平屋、建築面積約113㎡）



ヨーロッパに見られる屋根が芝生の農家をイメージ。
ボート乗り場は、待合い及び休憩スペース兼用。

⑫芝生スタンド

約900㎡ある芝生スタンドは、約900人収容することができる。

⑬トイレ

デンマークの街並みの建物をイメージ。

トイレの洗浄水は処理水（中水）を利用。

⑭童話館（鉄筋コンクリート造 平屋建・床面積 約632㎡）



平成10年10月オープン。

アンデルセン童話の持つ楽しさと作家自身の人物像の魅力再発見、及び童話の世界の体験を通じて子供たちに新たな創造力を高めてもらうために計画。

正面の建物は、アンデルセンの生まれ故郷オーデンセ市のアンデルセン博物館の協力を得て、オーデンセ市“フュン野外博物館”に保存されている1800年代の学校を模して建築。

館内には、アンデルセンの生涯を描いた壁画や童話のアニメーション、オーデンセ市の街と自然を紹介する映像やパネル、アンデルセン童話の初版本を展示。

更に、童話の語り聞かせのための「お話コーナー」、企画展示や創作活動などのための「多目的ルーム」を設置。

3) 子ども美術館ゾーン



子ども美術館は、従来の展示を中心とした美術館とは異なり、子ども達が五感で自然とふれあい、自由な発想でのびのびと作る楽しさや喜びを体験できる施設として計画。

美術館は、自然環境に恵まれた用地内に建築することから、既存樹木や斜面を活用し、地下を積極的に利用するなど、自然を残すことに配慮した設計。

施設は、パフォーマンスゾーンとクラフトゾーンの2つに区分。

(a) パフォーマンスゾーン [鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上2階、地下2階]

《地下1階部分》

① エントランスホール (232.316 m²)

美術館の玄関ホールに位置し、各施設の案内・概要・紹介を行う場所。

② インフォメーション (52.369 m²)

美術館の案内、記念品等の売店。

③ アンデルセンスタジオ (710.932 m²)



H. C. アンデルセン生誕200年を記念し設置。
子ども達が衣装やフェイスペインティングで「親指姫」に登場する人物(動物)に扮し、童話の世界を体験。

平成30年3月に市制施行80周年記念事業として、デンマーク・オーデンセ市の「子ども文化センター」(ティンダーボックス)から協力をいただき「しっかり者のすずの兵隊」の舞台セットを設置。

美術館前庭に植えられている「メタセコイア」の根を観察することができるほか、空き缶を使ったアート作品も展示されているスペース。

《地下2階部分》

① サービスヤード・荷解室 (393.725 m²)

美術館物品搬入、搬出用スペース。

② 機械室・電気室 (206.169 m²)

美術館設備機器設置スペース。

《1階部分》

① ワークショップ室 (収容 40人 398.594 m²)

子ども達の創作活動そのものをイベントとして展示できる空間。
多目的な創作活動に配慮した場。

② ワークショップ準備室 (収容 14人 124.096 m²)

指導員や参加者のミーティングスペースでワークショップの機材を準備・制作する場。

③指導員室 (収容 8人 63.058 m²)

指導者が企画・運営・研究などを行う場。

④版画アトリエ (収容 12人 89.700 m²)

各種版画製作用の設備を備えた場。

⑤談話・会議室 (収容 40人 98.758 m²)

来館者の交流の場、雨天時の昼食及び講演会や講習会等にも利用できる部屋。

⑥データ・ベース制作室 (収容 2人 26.535 m²)

美術館内の活動・作品の記録と管理所蔵品目録の作成と管理等を行う部屋。

《2階部分》

①展示室 (収容 ギャラリー含150人 361.418 m²)

子ども達の作品展示の場、時には子ども達の美術教育として、企画美術展等の美術鑑賞の場。

(b) クラフトゾーン [鉄筋コンクリート造、平屋建 (一部2階)]

①食のアトリエ (収容 調理室21人 研修室16人 323.279 m²)

子ども料理教室を行う。(郷土料理、パン等)

調理室、土間台所、作業コーナー、食卓コーナー、研修室、ギャラリー等

②染織のアトリエ (収容 作業室16人 機織室16人 272.609 m²)

染色・織物教室などができる。

染色作業室、水場、機織作業室、ギャラリー等

③陶芸のアトリエ (収容 36人 245.381 m²)

土の採取から始まって、寝かせ、精製、練り、成形、絵づけ(施釉)、乾燥、焼きと一連の作業が可能。

陶芸作業室、窯場等

④木のアトリエ (収容 36人 282.778 m²)

木工、金工の作業が可能。

木(金)作業室、木(金)工機械室、ギャラリー等

(c) 屋外施設

①野外劇場 (収容 150人)

小規模な劇ができる舞台、楽屋を持つ野外劇場。

楽屋 (72.927 m²)、舞台、客席 (約 120 m²)

②大地の広場

(d) その他

・エレベーター (障害者対応) 2基、荷物運搬用1基

・建築面積等

	パフォーマンスゾーン	クラフトゾーン	楽屋	合計
--	------------	---------	----	----

建築面積	1,640.821㎡	1,276.283㎡	72.927㎡	2,990.031㎡
延床面積	4,331.677㎡	1,205.792㎡	72.927㎡	5,610.396㎡

4) 自然体験ゾーン



樹林地や地形を生かしながら里山の水辺では、散策路や田んぼを復元し、子どもたちが自然環境体験学習の場として活用。

5) 花の城ゾーン

①妖精の森



アンデルセン公園の子ども達を、デンマークのいたずら好きな小妖精「ニッセ」に例えた体を通じて体験できる好奇心の刺激と発見のある空間を演出。

ニッセが暮らす「妖精の家」を舞台に「トカゲのネット」や「ねころびネット」を配置。

②妖精が丘 花のトレリス

中央部にトレリスに囲まれた「マイアの玉座」を配置し、物語の主人公のなりきりを演出。

③イーダの庭



アンデルセン童話「小さなイーダの花」をモチーフとした花のガーデン。

ガーデン中央には、ごっこ遊び的な「イーダの家」と「ブランコ」を配置。

④メイズガーデン (迷路の庭)

低木（シルバープリペット）を使った迷路の中央には、トピアリーを配置し物語性を演出。
子どもと自然のふれあいをベースにした冒険と発見の空間。

⑤ファンシーガーデン

アンデルセン童話「親指姫」をモチーフとした空想と創造のガーデン。
色彩豊かなポップアートデザインベースに動物乗り物、滑り台等の「形と色」の世界を演出。

⑥芝生広場

ピクニックも楽しめる芝生広場。平成29年10月には、日本・デンマーク王国外交関係樹立150周年を記念してデンマーク王国メアリー皇太子妃殿下をお迎えし、来船を記念して、記念植樹（セイヨウニワトコ）。

また、乳幼児が遊べるデンマーク製の遊具も設置。

⑦レストハウス（鉄骨造・平屋、建築面積約 301㎡）



室内で遊べるスペース、授乳室、休憩所を備えた施設。

⑧カフェレストラン（鉄骨造・平屋・建築面積約 45㎡）



花の城ゾーン西ゲート付近に軽食・喫茶の提供と土産品を販売するカフェテリアタイプの店舗。

6) 地域交流ゾーン（拡張区域内）

《暫定供用施設》

① ドッグラン 約4,830㎡



7) 駐車場

・北駐車場（356台）

・東駐車場（200台）

・南駐車場（818台）

・西駐車場（729台）

計：2,103台